

漁況情報 No.23 平成 19 年 12 月 25 日 発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

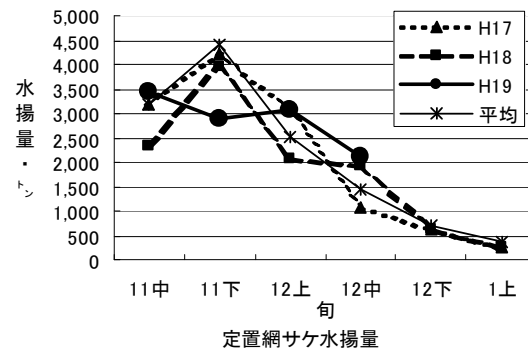
*本報は <http://www.pref.iwate.jp/hp5507/> に掲載しております。

<< トピックス >>

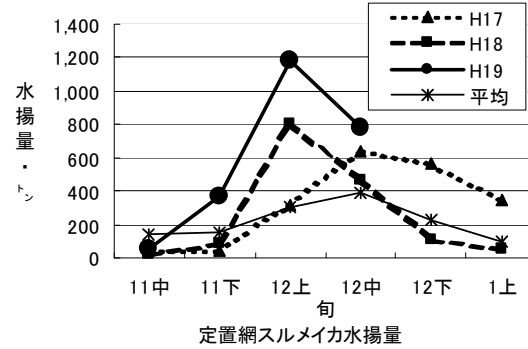
サケ(定置網)の水揚げは前年並です。
スルメイカ(定置網、イカ釣り)の水揚げは好調です。

1. 水揚げ状況

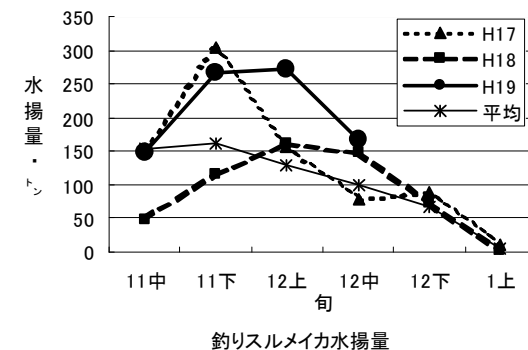
(1) サケ(定置網)は宮古を中心に水揚げがあり、12月中旬の水揚げ量は2,104トン(前年同期並)でした。また、12月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は1,452トンで、旬水揚げはその1.4倍でした。年累計は15,802トン(前年同期並)です。



(2) スルメイカ(定置網)は山田、釜石、大船渡を中心に水揚げがあり、12月中旬の水揚げ量は780トン(前年同期の1.7倍)でした。また、12月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は393トンで、旬水揚げはその2.0倍でした。年累計は4,039トン(前年同期の1.3倍)です。



(3) スルメイカ(イカ釣り)は釜石、大船渡を中心に水揚げがあり、12月中旬の水揚げ量は167トン(前年同期並)でした。また、12月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は99トンで、旬水揚げはその1.7倍でした。年累計は7,904トン(前年同期の5.0倍)です。



*水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計による。

2. 調査結果、その他の情報

◎ブリ精密測定結果

12月中旬に水揚げされたブリ(釜石魚市場、定置網)の精密測定を行いました。ブリは大きさによって呼称が変わります。12月中旬に漁獲されたのは「ショック」銘柄で、34~36cm主体でした。10月下旬の同銘柄とほぼ同様の大きさであり、9月上旬と比較して3~7cm程度大型になっていました。(図1)。

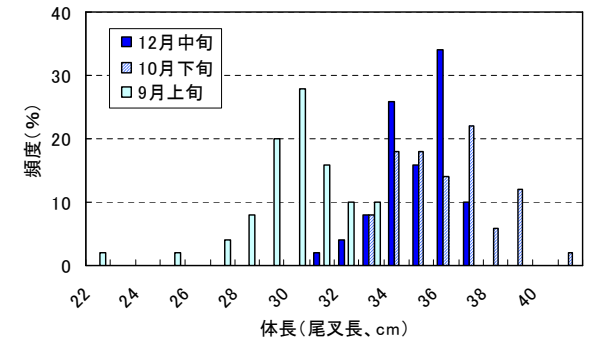


図1 ブリ(ショック)体長組成

◎平成19年度第2回イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報が12月19日に発表されました。詳細は水産庁、水産総合研究センターのホームページをご覧ください。

《海況》

潮岬以東の黒潮は、1~3月はC型流路、4月以降はN型流路となる(図2参照)。沿岸水温は、潮岬以西が「平年並み」~「高め」、潮岬~犬吠埼が「平年並み」~「低め」で暖水波及時に「高め」、伊豆諸島南部海域がC型流路時に「低め」基調、N型流路時に「高め」、鹿島灘~常磐南部海域が「平年並み」~「低め」で暖水波及時に「高め」となる。

《漁況(来遊量予測)》

○マサバ・ゴマサバ太平洋系群

1歳魚は前年を上回る。
全体としては下回る海域が多い。

○マアジ太平洋系群

徳島以西で前年を下回る海域が多く、和歌山以東で前年並み。

○マイワシ太平洋系群

紀伊水道外域以西では前年を上回るか前年並み。

房総以北での2歳魚以上は前年を下回る。

○カタクチイワシ太平洋系群

前年を下回る。

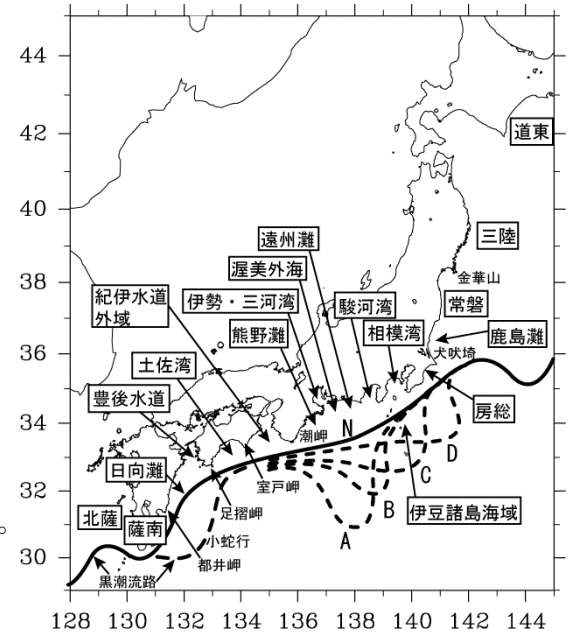


図2 黒潮流型の分類模式図

「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもご活用下さい。